



# 市議会だより

OTA City council No.73

発行：太田市議会【太田市浜町2番35号 TEL.0276-47-1806 FAX.0276-47-1860】

### 主な掲載記事

- P.2～P.6 … 一般質問の要旨
- P.6 …… 常任委員会
- P.7～P.8 … 決算特別委員会
- P.8 …… 9月定例会の議案審議結果など

## 「開かれた議会」へ 一歩ずつ



太田市議会では本年4月1日から、特別な手続きをすることなく、どなたでも自由に傍聴ができるようになりました。9月定例会もたくさんの方が傍聴にお越しくださいましたので、代表としてお二人の感想をお伝えします。

**お子様連れや学生の方の傍聴も大歓迎です！**



はまだ ゆみ な 濱田 佑美奈 さん

議員と執行者が太田市のことを真剣に考えているのを肌で感じました。市が抱えている課題と、それに対して必要な対策をきちんと取っていることもわかりました。



はやかわ ともき 早川 朋輝 さん

議員は、市民がまさに必要としている議題を扱っていたと思います。また、質問の中で具体的な政策を提案していてわかりやすかったです。

## 12月定例会の日程

～傍聴にお越しください～

12月定例会の日程は次のとおりです。

- 11月29日(金) 本会議 一般質問
- 12月2日(月) 本会議 一般質問
- 12月3日(火) 本会議 一般質問、市長提出議案の説明
- 12月5日(木) 本会議 議案質疑、委員会付託など
- 12月9日(月) 総務企画委員会 市民文教委員会
- 12月10日(火) 健康福祉委員会 都市産業委員会
- 12月16日(月) 本会議 委員長報告など

※原則、午前9時30分開会です。  
※日程・時間は変更になる場合もあります。

問い合わせ 太田市議会事務局  
☎0276-47-1806 ☎0276-47-1860  
E-mail:otagikai@mx.city.ota.gunma.jp  
本会議および委員会はどなたでも傍聴できます。

## 太田市議会があなたの町へ

～議会報告会・意見交換会を開催します～

市政に関する情報を共有し、議会をより身近に感じていただく機会です。多くの方の参加をお待ちしております。

- 【日時】 令和元年11月13日(水)  
午後6時30分から
- 【会場】 強戸行政センター  
木崎行政センター  
(2会場で同時開催)

- どなたでも参加できます。
- 事前申し込み不要  
当日、直接会場へお越しください。

# 9月定例会 一般質問要旨



## 各種検定料助成事業について

創政クラブ 長 ただすけ

議員 本市で行っている検定料助成事業について、概要を伺います。

教育部長 実用英語技能検定3級および日本漢字能力検定3級について、それぞれ検定料の半額を助成します。対象者は、市内の公立または私立の中学校に在籍するか、市内に住所を有する中学生です。

議員 学習指導要領の見直しによって小中学校の教育課程が大きく変わり、特に小学校では外国語が導入されます。検定料助成事業においても、対象者や対象となる級の範囲拡大を行うべきと思いますが、所見を伺います。

教育部長 本市の検定料助成事業は、



中学3年時の3級合格を目標に何度でも申請できる等、他市と比較しても充実しており、現行制度を継続したいと考えます。小学生を対象とした英語検定の助成については、今後研究していきたいと思えます。

議員 全国初の英語特区に認定され、また全国に先駆けて検定料助成制度を導入した市として、対象者や対象となる級の範囲拡大を行うことについて、教育長の所見を伺います。

教育部長 公教育を行う立場として、ボトムアップを最優先すべきとの考えのもと、3級の受験に係る助成は何度でも可能な制度としています。そこを乗り越えて上級に挑戦できる子どもたちが増えれば、改めて考えたいと思えます。

### ■その他の質問

- ・効率的で健全な行政経営の推進について
- ・農業生産基盤の整備と農業経営基盤の強化について



## 本市の農業振興について —農業機械導入時の市の助成について—

太田クラブ 木村 康夫

議員 農業機械導入時の助成について、交付要件と過去3年間の助成件数、総事業費を伺います。

農政部長 太田市認定農業者協会の会員であり、耕作放棄地の利用権設定を10㌦以上、かつ6年以上行うことが交付要件です。また、助成は1回限りとしています。過去3年間の助成件数と総事業費は、平成28年度が6件で500万円、29年度が7件で622万4,000円、30年度が4件で438万5,000円です。



議員 トラクターやコンバインの価格は1台1,000万円から1,500万円です。現行の制度では、20%の助成で、予算が500万円ですので、1年に2.5人しか利

用できないこととなります。さらに多くの人が利用できるよう、助成は1回限りとなっている現状の交付要件や、予算の見直しを行うことについて、市長の所見を伺います。

市長 議員と同じ気持ちの人が多く聞いていますので、その提案に100%対応し、予算を増やすことや、2回目の助成を認めるなどしたいと思えます。ただ、交付要件である耕作放棄地の利用権設定について10㌦以上から20㌦以上とするなど、助成の利用拡大を図ると同時に耕作放棄地が減るよう、工夫していきたいと考えています。

### ■その他の質問

- ・耕作放棄地対策と農地管理について
- ・農地の多面的機能の維持及び改善について
- ・学校給食における地産地消の現状と今後について
- ・(仮称)太田西複合拠点公共施設について



## 本市の都市計画道路の現状と課題について

創政クラブ 高木 きよし

議員 太田西部幹線について、全体の進捗状況と今後の課題を伺います。

都市政策部長 進捗率は約50%です。一番の課題は地権者交渉であり、跨線橋の築造や交差点協議に伴う、関係機関との調整にも時間を要すると思えます。

議員 新田世良田線の事業化について、周辺には工場が集積していることから、国道354号までのアクセス道路が必須です。利根川の新規架橋でも、多くの人の動きが継続しています。本市西部地域の交通の要衝として今後の取り組みが期待されますが、所見を伺います。

都市政策部長 県の主要事業から除外されており、令和9年度までには整備予定がありません。県に対し、この路線の必要性を訴えらるとともに、代替となる整備手法を検討したいと思います。

議員 今後の幹線道路の計画において、排水性舗装を導入することについて所見を伺います。

都市政策部長 安全性や費用対効果を

考慮しながら、現場に合った最適な方法で整備を進めていきたいと思えます。

議員 太田西部幹線における今後の取り組みと、本市都市計画道路の見直し路線に対する市長の所見を伺います。

市長 太田西部幹線は南北方向の非常に重要な路線ですので、国道354号のバイパスまで通過するよう県に要請しています。本市都市計画道路の全体の見直しは、担当課で計画的に行っていますので、具体的な路線について助言をいただけるとありがたいと思えます。

### ■その他の質問

- ・本市が管理する橋梁の老朽化の現状と対応について



## 市営住宅入居者をケアする人のための駐車場の確保について

創政クラブ 松浦 武志

議員 市営住宅の入居者数について、年齢別の特徴を伺います。

都市政策部長 平成27年度末と30年度末で比較すると、59歳までが大きく減少傾向、60歳以上が増加傾向です。

議員 来客用駐車場が設置されている市営住宅の数を伺います。

都市政策部長 現在7団地です。5団地は建設段階に整備し、残りの2団地は入居者からの要望により、入居者用の駐車場を転用して設置しました。

議員 来客用駐車場のない市営住宅の入居者が訪問介護サービスを利用する場合、入居者もしくは福祉施設が、自身で駐車場を契約したり、警察へ駐車許可証を申請したりと、双方さまざまな努力をしています。そのため、すべての市営住宅に来客用駐車場を確保すべきと思いますが、所見を伺います。

都市政策部長 入居者の高齢化が進んでおり、今後、福祉サービスの利用も増えていくと考えられます。各々の事情が異なる

りますので、すべての市営住宅への設置は難しいと思えますが、積極的な対応を図りたいと思えます。



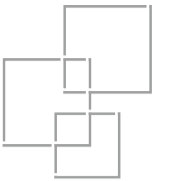
議員 駐車場の空きスペースを活用した来客用駐車場の確保について、市長の所見を伺います。

市長 これ以上の駐車スペースの拡大が難しい市営住宅もありますので、入居状況を調べ直して、使用されていないところを入居者以外の駐車スペースとして確保するなど、最大の努力をしたいと思えます。

### ■その他の質問

- ・安全で安心なおいしい学校給食の提供について

9月定例会では、9月4日から6日にわたり19人の議員が一般質問を行い、太田市政の現状や将来に対する方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認のうえ1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介します。なお、一般質問の様子は太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。また、定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで12月下旬からご覧いただくことができます。詳しいことは、議会事務局（☎0276-47-1806）までお問い合わせください。



## ごみの不法投棄について

太田クラブ 八長 孝之

**議員** 環境政策課と清掃事業課において、過去3年間で不法投棄物を回収した件数を伺います。

**産業環境部長** 環境政策課における回収件数は、平成28年度117件、29年度111件、30年度70件です。清掃事業課においてごみステーションの不法投棄を回収した件数は、28年度395件、29年度341件、30年度296件です。

**議員** 30年度は回収件数が減少しています。現状の取り組みと今後の対策について伺います。

**産業環境部長** 今年度は事業系ごみの適正処理を促すため、委託事業者の新規開拓や、分別方法や回収日の分かるごみアプリケーションの導入等を行いました。今後は、市民や事業者に対し、今まで以上に不法投棄禁止の啓発活動をしていきたいと思っています。

**議員** ごみの不法投棄について、市長の所見を伺います。

**市長** 法律に違反しているわけですか

ら、市民一人一人の意識の問題と考えます。本市全体を見る限りでは、昔に比べるときれいになり、市民の信頼はずっと厚くなっています。さらに意識を高めてもらえるよう、啓発事業を継続していきたいと思っています。

**議員** 自主的に不法投棄への対応をしてくれている区長や環境保健委員等の心意気に応えるためにも、政策の見直しや新たな取り組みができないか、市長の所見を伺います。

**市長** 不法投棄の多い地域があるならば、注視していきたいと思っています。



■その他の質問  
・保険証のカード化について



## 附属機関等の定員充足について

創政クラブ 板橋 明

**議員** 本市における附属機関の数、委員の定数と実数、男女比を伺います。

**企画部長** 附属機関は39機関で、委員の定数は合計668人、実数は合計560人です。男女比については男性が79.6%、女性が20.4%です。



**議員** 「太田市審議会等の取り扱いに関する指針」では、「太田市男女共同参画基本計画」に基づき女性委員の割合が33%以上になるよう努める旨の記述があります。この目標に対する現状と今後の取り組みについて伺います。

**企画部長** 現在、女性委員の割合はほぼ横ばいで推移していますが、令和4年度末までに目標値を達成できるよう取り

組んでいるところです。

**議員** 附属機関の委員の充足率について、指針を管理する立場から所見を伺います。

**企画部長** 委員の充足率83%、実人員で108人不足という現状を踏まえて、指針に基づき、各所管において適正化に向けて取り組んでいきたいと思っています。

**議員** 市の附属機関である委員会や審査会、審議会など、市民の意見や考えを求める場が定数を満たしていないことについて、市長の所見を伺います。

**市長** ご指摘いただいたことで実態を知ることができ、感謝しています。それぞれの機関において、定数の妥当性を精査した上で、必要な機関についてはいろいろな分野の方々に声掛けをし、人材確保のために努力していきたいと思っています。

■その他の質問

- ・区長、区長代理等の補償拡充について
- ・民生委員・児童委員への支援について



## 高齢ドライバーの交通事故抑制に向けた施策について

公明クラブ 前田 純也

**議員** 本市の運転免許所有者のうち65歳以上の割合と、65歳以上の人口のうちの運転免許所有率を伺います。

**市民生活部長** 平成30年度は、それぞれ25.1%、70.1%となっています。

**議員** 65歳以上を対象に、運転支援システム「アイサイト」搭載車の購入に対する補助金交付事業を行うとのことですが、予定と周知方法を伺います。

**市民生活部長** 令和元年10月1日から施行予定です。広報おたへの掲載や市のホームページ、行政センター等で周知を行うことを考えています。

**議員** 車を運転する65歳以上の方の人数から、さらに幅を広げた事業の実施



も必要と考えます。後付けの踏み間違い防止装置について周知したり、その設置費用の一部を市が負担したりすることについて、所見を伺います。

**市民生活部長** 運転支援システム付自動車購入補助金交付事業の実施状況を見ながら、調査や検討をしていきたいと思っています。

**議員** 高齢者が少しでも安心して運転できるよう、踏み間違い防止装置の設置費用の一部を市が負担することについて、市長の所見を伺います。

**市長** 事故を起こしたくない人は、自分で装置を取り付けるのが原則と思っています。運転支援システム付自動車購入補助金交付事業については、今回はSUBARUのみを対象としましたが、SUBARU以外のメーカーや、後付けの踏み間違い防止装置を対象に加えることも検討していきたいと思っています。

■その他の質問  
・各種けんしんの受診率向上について



## 災害級の猛暑から市民を守る方策について

創政クラブ 今井 俊哉

**議員** 高齢者向けのエアコン設置費の助成等について、本市および他の自治体における状況を伺います。

**健康医療部長** 本市では助成を行っておりません。県外では上限3万5,000円から5万円程度の範囲で助成を行っている自治体もあります。

**議員** 市営住宅に入居する高齢者世帯に対する、エアコン設置への配慮について伺います。

**都市政策部長** 高齢者に限ったものではありませんが、エアコン専用のコンセントが住宅内にはない場合は、1カ所に限り設置するサービスを行っています。

**議員** 小中学校における熱中症対策について伺います。

**教育部長** 普通教室および利用頻度の高い特別教室に、全校でエアコンを設置しており、今年度中に理科室のエアコン設置も完了する予定です。屋外には全校にミスト発生装置を設置しています。また、児童生徒に水筒を持参させる、暑さが厳し

いときはプールの授業を中止するなど、学校や児童生徒の実態に応じて対応しています。

**議員** 近年の夏の異常な暑さを考えると、災害への対応と同様に、猛暑へも組織的に対応する必要があると感じますが、市長の所見を伺います。

**市長** 自分の命は自分で守るという考えが前提ですが、おとしより見守り隊やふれあい相談員、民生委員等を通じて注意喚起をしていくことが大切だと思います。エアコン設置費の助成については検討したいと思っています。

■その他の質問

- ・本市の雨水排水対策について



# 9 月 定 例 会



## 本市における教育行政の諸課題と義務教育学校開校に向けた対応について

立憲民主党 神谷 大輔

議員 義務教育学校の開校により、統合される各学校が長年にわたって築いてきた地域との関係性について今後の対応を伺います。

教育長 地域に根差した学校を目指す学校評議員制度がありますが、3つの学校が統合するということから、さらに地域との色濃い連携を考えた組織をつくる必要があると考えます。校舎構想の中では、地域住民が使用できる部屋を準備しています。今後も全国の事例を研究し、検討していきます。

議員 開校にあたり保護者や地域住民の不安を解消し、理解を得るための対応の必要性について所見を伺います。

教育長 説明会等さまざまな機会を通して十分な説明を行い、具体的な疑問には推進室だよりを通して回答しています。今後もいろいろな角度から丁寧な発信を続けていきたいと思います。

議員 義務教育学校設置のメリットについて所見を伺います。



教育長 共通の教育目標に基づき、継続性と系統性をもって9年間、子どもを育てるということに尽きると思います。義務教育学校を成功させ、その中で他の学校に模範となるようなものを啓発して、太田市の学校全体がレベルアップすることを目指しています。

議員 あるべき義務教育学校像について、市長の所見を伺います。

市長 学年の縦の連携で行動することで、子どもたちが学校や地域について強く意識するようになると思えます。時代の変化を捉えた上で教育委員会が掲げるメリットを理解し、欠点があれば改善していくことが大切と思います。



## 本市における不登校対策について

太田クラブ 齋藤 光男

議員 本市における過去3年間の不登校の児童生徒数を伺います。

教育部長 平成28年度が児童62人、生徒223人、29年度が児童58人、生徒197人、30年度が児童78人、生徒210人です。

議員 本市の不登校対策について伺います。

教育部長 すべての小中学校に悩みごと相談員と教育支援隊を配置しており、特に支援が必要な学校には、各校1人、合計で12人の不登校専門員を配置しています。また、不登校児童生徒とその保護者を支える取り組みとして、教育研究所の相談業務や適応指導教室、おたん通信教室の事業を行っています。

議員 不登校専門員の具体的な職務内容と、その効果について伺います。

教育部長 相談室登校の児童生徒に対し、教室復帰を目指した個別指導を行うため、29年度から配置しています。中学校における29年度と30年度の不登校生

徒数を比較すると、不登校専門員未配置の学校では合計28人の増加、配置した学校では合計15人の減少となり、大きな効果が確認されました。



議員 不登校児童生徒を減少させるための取り組みについて教育長の所見を伺います。

教育長 不登校に絶対的な解決策はなく、教育委員会においても最大の課題です。常にいろいろな観点から協議し、不登校専門員をはじめ、考え得るあらゆる策を取ることが大切と思います。

### ■その他の質問

・本市の公共施設等の現状と今後の計画について



## ドクターカーの導入について

太田クラブ 中村 和正

議員 私が平成30年9月定例会でドクターカーの導入について一般質問を行ったところ、今後、研究および検討をしていくとの答弁がありました。その後の消防本部における取り組みや実績を伺います。



消防長 従来から実施している医師搬送を拡大した社会実験を平成31年2月から実施し、現在の救急体制の中で医療機関と協力して、消防救急車に医師が同乗して現場に向かっています。令和元年8月末までの実績は、午前9時から午後6時の時間帯で延べ17日間実施し、全救急要請228件のうち26件の医師搬送を行いました。今年度末まで継続し、医師搬送

の有効性と必要性を検証していきたいと思います。

議員 昨年の市長答弁では、導入については前向きに考えたいが、医師の確保が課題であるとのことでした。他市に先駆けた医療の充実を進めるため、医療機関と協議し、医師や看護師、車両の整備のための経費の助成を予算化することについて市長の所見を伺います。

市長 現在は実験段階にありますので、もう少し継続して有効性を確認したいと思えます。また太田記念病院の状況を見て、経費等についても検討していきたいと思っています。

### ■その他の質問

- ・小中学校の学校生活における諸課題について
- ・給食時間の割り振りについて
- ・中学生の自転車通学について
- ・中学生のボランティア活動状況について
- ・交通事故防止のための施策について



## 選挙に関する市民意識の高揚について

太田クラブ 白石 さと子

議員 今年度における選挙の投票率向上の取り組みと成果を伺います。

総務部長 市の西部3カ所の期日前投票所を新田庁舎に集約し、新たにイオンモール太田を加えた市内3カ所に再編しました。各投票所の投票率は見込んでいた割合に近い結果となり、一定の成果が得られたと考えています。

議員 期日前投票所への送迎サービスについて、概要と実績を伺います。

総務部長 本年7月20日、70歳以上の一人暮らしの方を対象とした無料送迎バスを運行しました。午前と午後各1便を8路線で運行し、延べ21人が利用しました。周知期間が短く、利用者も伸び悩んだため、今後はより良い方法を研究したいと思えます。

議員 投票所の再編と送迎サービスについて、市長の所見を伺います。

市長 投票しやすい場所に変えていくことは適切な対応と思えます。さらに、期日前投票所を増やして投票日にも投票

可能とできればと思えますが、実現は難しいと思えます。送迎サービスについては期待したほどの効果は得られなかったため、今後検討を重ねていきたいと思えます。

議員 投票率向上のための取り組みについて、市長の所見を伺います。



市長 若い人へ喚起をするには、出前授業に加え、高校生に市議会を傍聴してもらうのが良いと思えます。自分で見聞きして、投票の大切さを感じてもらうことが大切と考えています。

### ■その他の質問

・女性活躍推進に向けた本市の取り組みについて

# 一般質問要旨



## 太田市立地適正化計画について

太田クラブ 木村 浩明

**議員** 太田市立地適正化計画の策定の経緯と、その効果を伺います。

**都市政策部長** 今後の人口減少を見据え、市街地が低密度化したり、拡散することの抑制を目指すものです。策定により区域内での開発行為への誘導が期待されます。また、公共交通の利用促進が図られ、交通弱者の移動手段の継続的な確保にもつながると考えます。

**議員** 藪塚地区に居住誘導区域が設定されていない理由を伺います。

**都市政策部長** 全域が非線引き都市計画であり、用途地域の指定がないため、居住誘導区域の設定ができません。

**議員** 藪塚地区が非線引き地域であることについて市長の所見を伺います。

**市長** 非線引き地域では住宅が建築できるため、人口が増えるというメリットがある一方、住宅と工場の混在により、事故が起これば住民が巻き込まれる可能性も高いです。線引きを行うべきかどうか住民と検討を重ね、適切な対応を取りたいと

考えています。

**議員** 市内を4つ程度の地域に分け、各地域に拠点を設けることは、公共交通の観点からも理想的な形と考えますが、市長の所見を伺います。

**市長** 西地域で運行している市営無料バスは多くの高校生に利用されており、有効な方法と考えます。現在、商業集積地として、東地域はイオンモール、西地域はジョイフル本田があります。拠点となりうるこれらの場所にバス等で誘導していきたいと考えます。

### ■その他の質問

#### ・西部地域における図書館機能の充実について



## 本市の空き家対策について

創政クラブ 矢部 伸幸

**議員** 本市における空き家の状況について伺います。

**都市政策部長** 平成25年度に実施した国の住宅土地統計調査によると、総数が約1万5,500戸、そのうち一戸建て住宅の空き家は約4,750戸です。

**議員** 「太田市空家等除却補助金」の現状と今後について伺います。

**都市政策部長** 平成29年度から令和元年度まで、累計390件を超える利用がされています。次年度以降も継続して実施していきたいと考えています。

**議員** 国土交通省が推進する全国版空き家・空き地バンク事業に、本市も参加することが有効と考えますが、所見を伺います。

**都市政策部長** 非常に有効な手段と認識しており、参加登録に向けて手続きを進めたいと思っています。まだ計画段階ですが、本市と空き家対策に関する協定を結んでいる不動産団体と連携し、それぞれの専門知識や行動力を生かした、職員へ



の負担の少ない運営をしていきたいと考えています。

**議員** 空き家および空き地に対する市長の所見を伺います。

**市長** まとまりのあるまちの実現のためには、市街化区域に家を建ててもらうことが一番ですので、調整区域のうち利便性の高いところを市街化区域に切り替えるなどしていく必要があると考えます。また、空き家や空き地の利用方法について、不動産団体の方々に積極的に考えてもらえるよう仕向けていくことが大切と思っています。

### ■その他の質問

#### ・有害鳥獣対策について



## 豪雨等に対する防災・減災対策の推進について

公明クラブ 星野 一広

**議員** 防災マップを基に住民が自らの避難行動を考える「マイタイムライン」の推進について所見を伺います。

**総務部長** 防災マップの説明会や出前講座、自主防災組織の訓練などを通じて推進していきたいと思っています。

**議員** 本市の自主防災組織の状況と今後の推進について所見を伺います。

**総務部長** 防災事業の実施時に経費の2分の1、上限6万円を補助する「太田市自主防災組織防災事業補助金」を交付しており、平成30年度は10地区に合計34万3,000円を支出しました。また災害図上訓練「DIG」および避難所運営ゲーム「HUG」を各地区の自主防災組織で実施しており、引き続き推進を図ってきたいと思っています。

**議員** 子どもたちに具体的な地域の実情と避難行動を教えるため、防災マップとマイタイムラインを活用した防災教育を行う必要があると思いますが、教育長の所見を伺います。

**教育長** 災害を自分のこととして捉えさせることが第一と考えますので、そのような観点からは有効と思います。

**議員** 一歩進んだ防災減災対策を推進し、災害時の市民への的確な情報提供について、市長の所見を伺います。

**市長** 具体的でわかりやすい表現を用いた防災マップを作成し、使用するのはい良い考えです。さらに、被害状況の伝達や避難を促すためにメールを活用したいと考えていますので、市民にも協力していただきたいと思っています。

### ■その他の質問

#### ・おおた渡良瀬産業団地造成と地域活性化について



## 18歳までの医療費無償化と成人の歯周病検診について

日本共産党 石井 ひろみつ

**議員** 本市の公立校の小学生から高校生までの歯科検診結果を伺います。

**教育部長** 虫歯は年齢が上がるにつれ減少していますが、歯肉の炎症は中学生になると増加する傾向があります。小学生の虫歯予防と中学生からの歯周病予防が課題であると捉えています。

**議員** 医療費無償化を18歳までとした場合の試算額を伺います。

**健康医療部長** 年間約1億5,200万円が必要になると見込まれます。

**議員** 本市における歯周病検診の受診者数と、それに伴う1人当たりの市の負担額および総負担額を伺います。

**健康医療部長** 平成30年度の受診者は224人です。70歳以上と生活保護世帯、市民税非課税世帯については1人当たり5,120円を市が負担しています。その他の人は500円の自己負担金を徴収しており、4,620円が市の負担となります。総負担額は106万9,880円です。

**議員** 18歳までの医療費無償化の実

施について、市長の所見を伺います。

**市長** 高校生は成人の予備軍でもあり、行政による全面的な負担ではなく、自分で自分の身体を守るという意識を高めるべきだと思います。中学生までは医療費が無償ですので、必要な処置を受けておくことも有効と考えます。



**議員** 成人の歯周病検診について、対象年齢を拡大する必要があると思いますが、市長の所見を伺います。

**市長** 20歳または30歳から始めるという方向で、歯科医師会と相談しながら検討していきます。

### ■その他の質問

#### ・防犯灯の新設・維持管理について

# 9月定例会 一般質問要旨



## 義務教育学校の設置計画において今なお残る課題・問題について

日本共産党 水野 正己

議員 全国の義務教育学校では教科担任制による子どものストレスや教員の多忙化が課題となっています。本市で同様の問題が起こらないための具体的な手立てを伺います。

教育長 現在、市内すべての小中学校で既に教科担任制を取り入れています。教員が自身の得意教科に特化した指導ができるなどのメリットがあり、文部科学省の調査では、義務教育学校での教員の多忙感改善傾向にあるという結果が出ています。

議員 施設一体型義務教育学校の児童生徒は、施設連携型小中一貫校の児童生徒よりも、子ども同士や教員との関係、中学校への期待度と現実とのずれ等についての指数が低いという調査結果があります。保護者の不安も大きいと思います。太田市でも同じようなことが現実起こりうることは否定できないと思いますが、所見を伺います。

教育長 数々の先進校に視察に行きまし



たが、どこも子どもの笑顔が増え、教員間の連携が強まったそうです。このような理想的な学校をつくるため、教員たちも意欲的に議論を重ねていますし、今後も推進していきたいと思えます。

議員 教育長の答弁から、私が指摘した課題解消の手立てがいまだに示されていないことがわかりました。なぜ2年後4月設置と慌てるのでしょうか。

市長 慌てているわけではありません。準備がそろった段階で始めようと再来年4月の開校をめざしています。

- その他の質問
- ・エネルギーの地産地消について



## 公共バスの取り組みと今後について

創政クラブ 大川 陽一

議員 本市の公共交通における、市営バス「シティライナーおおた」、スクールバスを活用した市営無料バス、おうかがい市バスの現状を伺います。

市民生活部長 平成30年度の利用者は市営バスが5万3,351人、市営無料バスが3万8,376人、おうかがい市バスが3万2,556人です。

議員 市長が新規に構想しているという、交通弱者のためのドアツードアの交通手段について概要を伺います。

市長 おうかがい市バスの停留所まで歩いて行けない人のために、タクシーを利用して玄関先まで送迎を行うことを考えています。おうかがい市バスの予算、約5,600万円の範囲内で、今よりも利便性の高いサービスが提供できるのではないかと思います。

議員 おうかがい市バスを中心に、定時性、速達性のある市営バスと、新規のドアツードアを併用することで、より多くの市民が利便性を享受できると思います。樹

木に例えると、市営バスは主要地点を結ぶ幹、おうかがい市バスは広範囲にわたり使い勝手の良い枝、ドアツードアは限定された本当に必要な移動をカバーする葉の役割を果たすと考えますが、所見を伺います。



市長 おうかがい市バスは利用者1人当たりでは約7万円の費用がかかっており、それに加えてドアツードアで多額の予算をかけるべきではないと思います。おうかがい市バスを廃止し、真の交通弱者に対してはドアツードアで対応したいと考えています。

- その他の質問
- ・ひきこもりの支援と対策について



## 太田強戸スマートインターチェンジの今後の活用と周辺地域の諸課題について

市民の会 尾内 謙一

議員 太田強戸スマートインターチェンジ(以下SIC)周辺地域における現在の構想について伺います。

都市政策部長 スケートボードパークの整備を第一に考えています。その完成後は八王子山公園やキャンプ場等、周辺の多様な施設を連携させて、集客を図れるよう研究したいと思います。

議員 太田強戸SICと桐生市内の国道50号松原橋交差点を結ぶ、県道太田桐生線バイパスの計画を伺います。



都市政策部長 今後10年間で完成を目指すとされています。八王子山公園等への誘客アクセス道路として生かせるよう、周辺地域の魅力あるまちづくりに取り組

んでいきたいと思えます。

議員 周辺地域に点在する集落のすべてが過疎化で悩んでいます。ミニ住宅団地の開発等、この地域の活性化について市長の所見を伺います。

市長 県の許可が下りず開発ができない現状です。このままだと集落が消滅してしまう可能性もありますので、新たに居住環境を整備し、集落を維持できるよう、住民と結束して県に強く訴えていくことが必要と考えます。

議員 周辺地域を魅力あるエリアとする整備について所見を伺います。

市長 農業を別の形で継続し、地域の活性化を図るという観点から、農業体験のできる観光施設を作ること考えています。民間に主力となって動いてもらい、市はそれをサポートする立場で進めていければと思います。

- その他の質問
- ・本市の高齢ドライバーが安心して安全に車を運転できる環境づくりについて

## 委員会では次の議案を審査しました

本会議で各常任委員会に付託された議案の審査結果をお知らせします。

### 総務企画委員会

■太田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市消防団条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市手数料条例の一部改正について

審査結果 原案可決

### 市民文教委員会

■太田市立小学校、中学校及び特別支援学校設置条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■財産の取得について

審査結果 原案可決

### 健康福祉委員会

■太田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部

改正について

審査結果 原案可決

■太田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市放課後児童クラブ条例の一部改正について

審査結果 原案可決

### 都市産業委員会

■太田市森林環境譲与税基金条例の制定について

審査結果 原案可決

■太田市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市下水道条例等の一部改正について

審査結果 原案可決

■市道路線の廃止について

審査結果 原案可決



# 決算特別委員会

## 決算特別委員 (R1. 9. 10 選任)

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎山田 隆史 | 高田 靖   |
| ○板橋 明  | 渡辺 謙一郎 |
| 松川 翼   | 大川 敬道  |
| 八長 孝之  | 高藤 幸偉  |
| 水野 正己  | 矢部 伸幸  |
| 高橋 えみ  | 白石 さと子 |
- ◎委員長 ○副委員長

9月10日の本会議で設置された決算特別委員会に「平成30年度太田市一般会計歳入歳出決算認定について」など8件の議案が付託され、9月18日から20日の3日間にわたり慎重に審査を行いました。

各委員の審査後、総括質疑と討論が行われ、採決の結果、それぞれ認定すべきものと決定しました。

委員会審査での主な質疑、要望、意見を委員長報告から抜粋してお知らせします。

## 一般会計

### 歳入

**問** 調定額に対する収入未済額と不納欠損額の比率が、県内他市と比べて高い要因について伺います。

**答** 主に、歳入における市税の占める比率が高いため、収入未済額が大きくなっていることが挙げられます。今後は、税外債権について債権管理対策会議を設置し、債権管理条例の制定を目指すことで、さらなる負担の公平性を確保していきたいと考えます。

**問** 保育所運営費保護者負担金に関して、待機児童の現状と幼保無償化の影響について伺います。

**答** 本市においては、待機児童は現在いませんが、潜在的待機児童数は35人です。幼保無償化による影響を予測することは困難ですが、待機児童の解消に向けては、将来的な保育需要を見込みつつ、保育園等における利用定員の拡充、保育士の確保、担い手の育成等、総合的に勘案していく必要があります。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・生産性向上特別措置法による固定資産税特例制度の事業者の認定状況について
- ・適正な予算編成、執行による不用額の抑制について
- ・マイナンバーカードの交付率および普及率向上への取り組みについて

### 教育費に係る歳入

**問** 学校給食費等における債権処理の課題について伺います。

**答** 納付意識向上のための啓発や催告のあり方を工夫する必要があり、債権管理対策会議の中でも債権回収や徴収方法、組織体制について協議をしていきます。また公債権と私債権の取り扱いについても、中身を精査し、債権の状況について整理した上で、サービサーへの委託の研究など、段階を踏んで債権の回収を進めていきたいと考えています。

## 歳出

### ●総務費

**問** 行政サービスにおけるRPAおよびAIの導入について伺います。

**答** 現在、導入に向けた実証実験を行っており、結果の検証により効果的と判断できる部分については導入を検討しますが、ヒトとRPA等のすみ分けを行うことが重要と考えます。

**問** 市営無料バスの安全・安心な運行への取り組みについて伺います。

**答** 全国的な運転手不足から大型2種免許を有する運転手の確保が難しい中、運転能力診断等の実施により、安全運転に係る意識および運転技術の向上を図るとともに、危険箇所を確認できる運転基準図を作成し、情報共有を図っていききたいと考えます。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・区長等の担い手不足に対する取り組みについて
- ・本庁舎共有スペースにおける公衆無線LANの整備について
- ・今後の社会情勢を見据えた行政センター統合について

### ●民生費

**問** 幼保無償化の開始が保育所等の給食費に与える影響について伺います。

**答** 保育所および認定こども園の副食費が実費負担となり、保育と教育とで助成条件や内容が異なるため、不均衡が生じてしまうことから、制度の見直しを図りたいと考えています。

**問** ふれあい相談員の適正な配置数について伺います。

**答** 高齢化に伴い見守り対象者も増加すると考えますので、配置数については今後の実態を見て検討したいと考えます。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・保育士の待遇改善への取り組みについて
- ・ケースワーカーの配置数の適正化について
- ・外国人生活保護世帯への支援について

### ●衛生費

**問** 大人の風疹予防接種について伺います。

**答** 風疹の予防にはワクチン接種による免疫の獲得が効果的なことから、本市では妊娠を希望する女性やその夫等を対象に、成人の風疹予防接種費用の助成を行っています。また抗体保有率の低い世代とされる男性に対しても、順次、抗体検査・予防接種のクーポンを送付しています。

**問** 児童虐待防止のための組織連携の強化について伺います。

**答** 虐待の背景は複雑多岐にわたるため、そのサポートを行う業務を所管する部署も多数となります。本年度から、こども課内に保健師の資格を持つ子育て相談担当を配置し、臨床心理士、社会福祉士等が配属され、各分野との連携をさらに進めることのできる体制がつけられました。家庭、地域、警察等との連携も含め、虐待防止のための組織と対策のあり方を考えたいと思います。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・ロタウイルス予防接種費用助成について
- ・高齢者や障害者の各種検診受診率を向上させるための交通手段確保について
- ・斎場の維持管理の現状および今後の斎場整備・勤労会館との複合化について

### ●労働費

**問** 小口資金融資貸付金および季節資金融資貸付金の利用件数の減少要因について伺います。

**答** 現在は民間金融機関の金利が低いため、市の制度融資の優位性が下がっていると考えられます。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・制度融資の積極的な利用のためのPRの実施について

### ●農林水産業費

**問** 農産物のブランド化と販売促進について伺います。

**答** 本市では独自の推奨品目を設定し、道の駅おたを販売の拠点と位置付け、6次産業化にも取り組んできましたが、消費者に価値を認めていただける良い物を作ることが大切であり、それが確立されることでブランド化、さらには観光農園等の施策へ発展していくものと考えます。

**問** 有害鳥獣対策の現状と今後について伺います。

**答** 吉沢町において、わな猟免許の取得を推進しており、鳥獣被害対策実施隊の設置や民間の認定鳥獣捕獲等事業者への委託も検討しています。今後は地域における捕獲体制の構築が重要であり、また、八王子山系での生息数等の調査には桐生市やみどり市との連携が不可欠ですので、県の協力を得ながら、広域の協議会等を立ち上げるなどの努力を続けていきたいと考えています。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・農業次世代人材投資事業の利用者を増加させるためのPRIについて

- ・早急な豚コレラ対策実施の必要性について
- ・梅田市有林の現状と今後の維持管理について

### ●商工費

**問** 観光施策としてのeスポーツなどの屋内イベントの実施について伺います。

**答** 今後、既存のイベントの開催時期との兼ね合いとともに、開催会場の候補となるような施設と研究を進めていきたいと考えています。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・電子メールによる消費生活相談実施について

### ●土木費

**問** 道路の新設改良に係る陳情への対応について伺います。

**答** 優先度の指標となる統一的な基準の作成を進めており、提出された陳情案件を地区へフィードバックし、優先順位を決め、進捗を図りたいと考えています。

**問** 市営住宅における入居後の連帯保証人の定期確認について伺います。

**答** 社会の経済状況も変わってきており、検討する段階に来ています。委託先の住宅供給公社と連絡を密に取りながら検討を進めていきたいと考えます。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・空き家除却後の土地利用について
- ・住宅リフォーム支援事業における申請期間の拡充と住宅用火災警報器設置に対する補助について
- ・災害時の倒木に対する電線地中化の考え方について

### ●消防費

**問** PA連携における成果と職員への負担について伺います。

**答** 人員や車両が充実していることから市民サービスに直結したPA連携が可能ですが、他市と比較すると出動件数が多いため、バランスを見ながら職員の負担についても検証していきたいと考えます。

**問** 高齢者世帯への住宅用火災警報器の設置支援について伺います。

**答** 65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、住宅用火災警報器を用意していただく上で、職員が自宅へ赴き設置を行う支援について実施を検討しています。

#### ■その他主な質疑、意見、要望等

- ・消防職員の大型自動車免許取得に対する助成について
- ・災害時に利用可能な地下水の把握について
- ・液体ミルクの備蓄推進について

### ●教育費

**問** 外国語指導助手の確保等への取り組みについて伺います。

**答** 外国語指導助手の確保のみにより英語教育が推進できるわけではなく、教員の指導力を高める必要があります。ぐんま国際アカデミーと連携してスキルアップを図っていく等、当面は教員の資質を高める工夫を継続しながら対応していきたいと考えています。

問 太田市運動公園における遠的の弓道場整備について伺います。

答 本市は県内でも弓道が盛んであり、選手のレベルも高く、9年後の国体等を見据えた中で遠的の競技場を持つことは大変意義があることから、建設を進めていきたいと考えています。

■その他主な質疑、意見、要望等

- ・学校におけるクビアカツヤカミキリ対策について
・義務教育学校建設に係る意向について
・2020年度の成人式の開催方法について
・障害者スポーツに対する環境整備について

●基金の運用状況に関する調査

問 老朽化した公共施設の整備基金設置について伺います。

答 基本的には合併特例債等の起債を活用していきたいと考えます。公共施設の更新費用が増大することを踏まえ、太田市公共施設等総合管理計画に基づき各所管における個別計画を含めて予算措置をしていますが、基金は、現実的な試算ができた段階で目標額を設定し、創設することが理想と考えています。

特別会計
公営企業会計

●国民健康保険特別会計

問 がん検診における受診率向上の取り組みについて伺います。

答 子宮頸がんおよび乳がんの集団検診の同時実施や、子宮頸がん集団検診

における託児の実施等、受診しやすい環境を整備するとともに、受診勧奨チラシの配布、受診勧奨はがきの郵送等を行っています。

■その他主な質疑、意見、要望等

- ・国民健康保険加入世帯数において他類似自治体と比べて資格証明書の発行数が多い理由について
・出産育児一時金の外国人への支給に係る対応について

●八王子山墓園特別会計

問 納骨堂における課題について伺います。

答 収蔵件数を超えたときの対応や、生前登録をする際に決めた祭祀者の転居による所在の把握等が課題と考えています。祭祀者については今後、さまざまなケースが想定される中で研究をしていきたいと考えています。

■その他主な質疑、意見、要望等

- ・八王子山公園墓地造成の経緯および墓地増設に係る要望への対応について

●介護保険特別会計

問 本市における介護保険の減免制度について伺います。

答 介護保険は国の制度ですので、国に準拠して運用することが最適ですが、減免については本市の介護保険条例に規定されており、今後も丁寧な説明を心掛け、個別相談も実施していきたいと考えています。

■その他主な質疑、意見、要望等

- ・介護予防への取り組みについて

●太陽光発電事業特別会計

■主な質疑、意見、要望等

・太陽光発電事業の剰余金を活用したソーラーバッテリー設置補助制度の創設について

・株式会社おた電力への出資と今後の支援について

●下水道事業等会計

問 受益者負担金の債権管理のあり方について伺います。

答 受益者負担金が強制徴収公債権であり、自力執行権があるとの認識はありましたが、専門知識を有する職員がいなかったことなどから、滞納処分を行ってきませんでした。現在、消滅時効を迎えているものについて、不納欠損を行うなどの適正な処理を実施するべく事務を進めており、受益者負担金制度の今年度中の統一のため、関係条例等の改正を行いたいと考えています。なお、受益者負担金に係る債権管理については、適正な手続きを踏んで、速やかに修正を図るとともに、確実な権利行使が重要ですので、組織や人事配置等、次年度の体制についても考えていきたいと思っています。

■その他主な質疑、意見、要望等

- ・デザイン性の高いマンホールぶたの採用とマンホールカード配布について
・公共下水道への接続率向上を図るための補助金増額について

総括質疑

問 本市の経常収支比率に対する所見および経常経費の削減について伺います。

答 75%程度が望ましいとの指標もありますが、現在では余裕のない自治体も非常に多いです。わたらせ産業団地の造成等、分母となる財源を増やす努力は行っ

ていますが、分子とされる経常経費の削減については、議会と執行者が一体となって取り組む必要があり、議会でも委員会等を通じて、何をどのように減らしていくのかについての積極的な議論をお願いしたいと思います。

問 農林水産業費の維持および陳情案件の今後の取り扱いについて伺います。

答 過去において、道の駅の建設や雪害対策等、予算が非常に多かった年もありますが、全体的に見れば平準化した予算編成となっています。土地改良事業等については、県と協力し、農業の生産性向上のための積極的な予算を組むとともに、陳情案件についても精査し、優先順位を決め、投資をしないがゆえに生産性や収入等に影響が及ぶようなことがないようにしたいと考えています。

問 義務教育学校の設置計画における課題の解消と設置期日の延期について伺います。

答 住民の理解を得ながら、北中学校区の学校環境をより良くしたいとの思いから、計画通り進めています。行政は時代の変化に対応する必要があり、通学する子どもたちや保護者から良かったと言われる環境づくりをしていきます。部活動やプール、学童保育等についても、整備、充実を図っていきたくと考えています。

■その他主な質疑、意見、要望等

- ・職員の働き方および民間委託等による行政改革について
・道路網の舗装率および市道2級62号線道路改良事業の進捗について
・国民健康保険税の引き下げについて

9月定例会の

議案の審議結果をお知らせします

《市長提出議案》

Table with 6 columns: 番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists various council proposals and their outcomes.

Table with 6 columns: 番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists council proposals and their outcomes.

《議会提出議案》

Table with 6 columns: 番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists council proposals and their outcomes.

※「付託先」欄において「省略」とあるのは、本会議において委員会付託の省略が行われたことを示します。

《請願》

Table with 4 columns: 番号, 件名, 結果. Lists petitions and their outcomes.

請願不採択の理由

Table with 4 columns: 番号, 理由, 結果. Explains reasons for petition rejection.

《陳情》

Table with 4 columns: 番号, 件名, 結果. Lists petitions and their outcomes.